



# あゆみ

青梅市立河辺小学校 学校便り  
No. 676 令和6年4月8日  
青梅市立河辺小学校

## 「向上心とその基盤となる自己肯定感を育む」ことを目指して

今年は満開の桜の中での始業式・入学式となりました。お子様のご入学・ご進級、誠にありがとうございます。



河辺小創立50周年  
キャラクター「うめどりちゃん」

新年度のスタートで、子供たちは新しい学年・学級や学習に大きな期待とともに緊張や不安も感じていることと思います。また「今年は〇〇をがんばろう」「〇年生として、がんばるぞ」という気持ちも高まっていることと思います。

こうした「節目」を迎える時は、子供が大きく成長する好機です。子供たち一人一人の「やる気」を、1年間の大きな成長に結び付けていけるよう、今年度も河辺小学校の教職員一同、努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

河辺小学校の「目指す学校像」は「一人一人が輝く、楽しい河辺小学校」です。

「今までの自分よりも一歩でも前進しよう」と自己の成長を目指し、生き生きと活動する姿を「輝いている姿」と捉え、そのような向上心あふれる児童の姿がたくさん見られるような教育活動を目指していきます。

また、自己の向上を目指し「挑戦してみよう」「失敗してもまた頑張ればいい」と前向きに活動するためには、「自分には価値がある」「やればできる」と自分を肯定的に考えられることが必要です。一人一人のありのままを認め、その良さをほめて伸ばす学校を「楽しい学校」とし、児童の自己肯定感を高めていけるよう努めていきたいと考えています。

さらに児童だけではなく、教職員や保護者・地域の皆様にとっても、河辺小学校が「よりよい姿を目指そう」という「向上心」と、その基盤となる「自己肯定感」が高められる場となればと願っています。

「学校」は、学習を学ぶ場であると同時に、他者とのかかわり方や集団の中での行動の仕方などの社会性を学ぶ場でもあります。社会性を学ぶ過程には、時には人とのかかわりの中で、互いの思いや考えがぶつかってしまったり、いやな思いをしたり落ち込んだりすることもあります。自信をなくしたり、悩んでしまったりすることもあるでしょう。

河辺小の子供たちには、自分を価値あるものと大切に思う「自己肯定感」を基盤として、よりよい自分・グループ・クラス・学校を目指していこうという「向上心」を伸ばしていける活動を進めることで、「自ら学び続ける態度」、自分も他者も大切な存在と考えることができる「自他尊重の心」を身に付け、予測不能と言われる今後の社会を、折れない心をもって乗り切れるよう育ってほしいと願っています。

今年度も河辺小は、保護者の皆様と「子供の大きな成長を願い、力を尽くすパートナー」として、ともに歩んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。